授業科目			対象学科・専攻		年 次	期別	
器楽Ⅱ Instrumental MusicⅡ			児童教育学科 幼児教育学専攻		2年次	後期	
講義・演習・実技・ 実習・実験	単位数	卒 業 認 定		担 当 教 員			
演習	1	選択		田中 奏子・上田 奈奈			

概要

音楽によるコミュニケーション力と教育現場で必要な即興演奏力を様々なリトミック的な要素を 用いたエクササイズや遊びを通して身に付けていく。

ピアノ曲を各自の能力に合わせ選択し、イマジネーション豊かな表現力を身に付け、幼児教育現場で効果的に用いる事ができるようなピアノ演奏技術を習得する。

到達目標

- (1) 表現する事、アンサンブルに必要な"コミュニケーション力"が身に付く。
- (2) "自由に発想する力"や"イメージ力"を高める事ができる。
- (3) イマジネーション豊かにピアノを演奏できる。

授業内容とすすめ方

1	"イメージする事"と"アンサンブル"について	
2	コミュニケーション力を高める基本エクササイズ	-1 週目-
3	コミュニケーション力を高める応用エクササイズ	-2 週目-
4	"イメージ力"を高めるエクササイズの基本①演劇系	-1 週目-
5	"イメージ力"を高めるエクササイズの基本②音楽系	-2 週目-
6	"イメージ力"を高める複合的なエクササイズ	-3 週目-
7	リトミック基本	-1 週目-
8	リトミック、リズム遊び	-2 週目-
9	任意のピアノ曲 1曲目 ①	-1 週目-
1 0	任意のピアノ曲 1曲目 ②	-2 週目-
1 1	任意のピアノ曲 1曲目 ③	-3 週目-
1 2	より高度な任意のピアノ曲 2曲目 ①	-1 週目-
13	より高度な任意のピアノ曲 2曲目 ②	-2 週目-
1 4	より高度な任意のピアノ曲 2曲目 ③	-3 週目-
1 5	発表会	

テキストおよび 参 考 文 献	授業内で適宜紹介
メッセージなど	ピアノの技術を磨くとこも大切ですが、現場では臨機応変に対応できる音楽表現力とテクニックが必要となってきます。そんな"即興力"と、枠にとらわれない自由な"イメージ力"を楽しみながら身に付けていきましょう!

ルーブリック評価を用いた成績評価								
到達目標	優	良	可	不可	評価手段	評価 比率		
(1) 表現する事、アンサ ンブルに必要な"コ ミュニケーション 力"が身に付く。	ほぼ完璧に 身に付いて いる。	大きな間違 いがなく、 基礎が身に 付いてい る。		身に付いて いない。	授業への取 り組み 定期試験	30%		
(2) "自由に発想する 力"や"イメージ力" を高める事ができ る。	2つの力を ほぼ完璧に 高める事が できる。	2つの力を 大きな間違 いがなく、 基礎を高め る事ができ る。	2つの力を 間違い、最低 るが、最健を 高める事が できる。	2つの力を 高める事が できていな い。	授業への取り組み	30%		
(3) イマジネーション 豊かにピアノを演 奏できる。	ほぼ完璧に 演 奏 で き る。	大きな間違 いがなく、 基礎を演奏 できる。	間違いはあ るが、最低 限の基礎を 演 奏 る。	演奏できて いない。	授業への取 り組み 定期試験	40%		